

2025年11月15日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、「食と農を通じ、豊かで活力ある地域づくりに全力を尽くすともに、地域に信頼され必要とされる」JAを目指します。」を経営理念として掲げています。当組合ではこの経営理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆様に寄り添い、気軽に相談できる」JAを目指すための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、共同で事業運営しております。

いみず野農業協同組合

I. 取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則 2 本文および（注）、原則 3 （注）原則 6 本文および（注 2、3、6、7）補充原則 1～5 本文および（注）】

- 当組合が取扱う投資信託商品は、多様なニーズに合った商品を備えつつ、一定の商品数に絞ることが組合員・利用者の皆さまの将来の備えの一步だと考え、中央機関である農林中央金庫において、「J Aバンクセレクトファンド」として、商品を選定しています。なお当組合は、投資性金融商品の組成に携わっておりません。
- 当該商品を組成する投資運用会社については、プロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを確認のうえ選定します。
- 金融商品を購入した組合員・利用者の皆さまの属性および販売状況に関する情報等を投資会社に提供し、その結果のフィードバックを受けています。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

⇒ コア・サテライト戦略について

保有する資産を守りの「コア（中核）資産」と攻めの「サテライト（衛星）資産」に分けて運用する方法

<イメージ図>



※商品選定の考え方：JAバンクHP

<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合は、組合員・利用者の皆様の日々の生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して安心して備えられるよう、最良・最適な共済仕組みを提供しています。なお当組合は、外貨建て共済などの市場リスクを有する共済仕組みの提供はしていません。
- 総合満足度は2025年3月末時点で96.5%となっており、高水準を維持しています。

I.取組状況

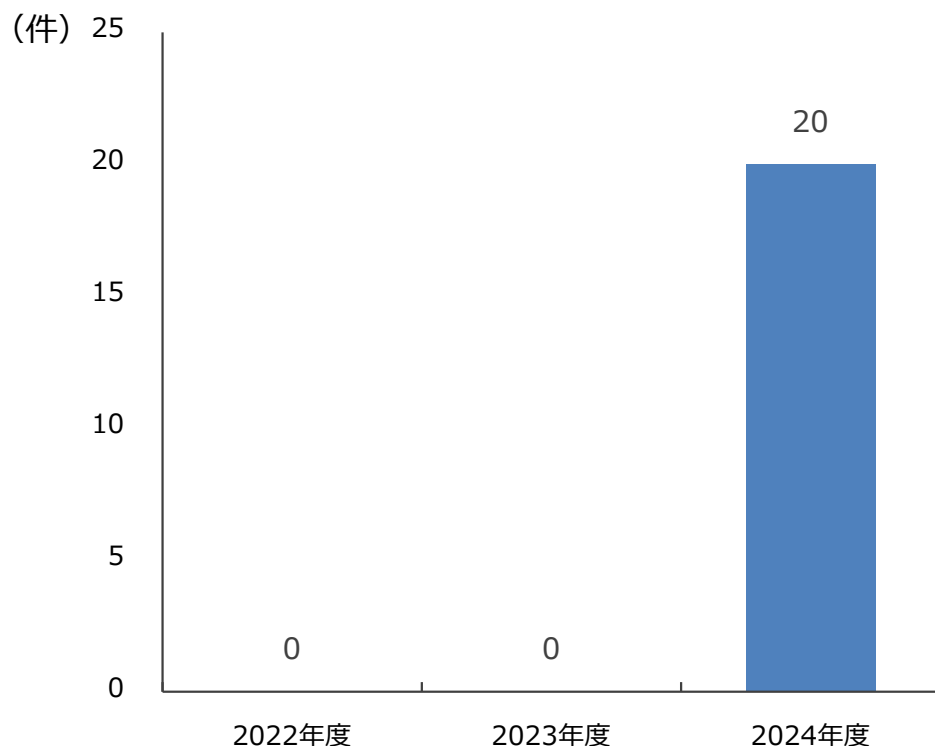
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

(1) 信用の事業活動

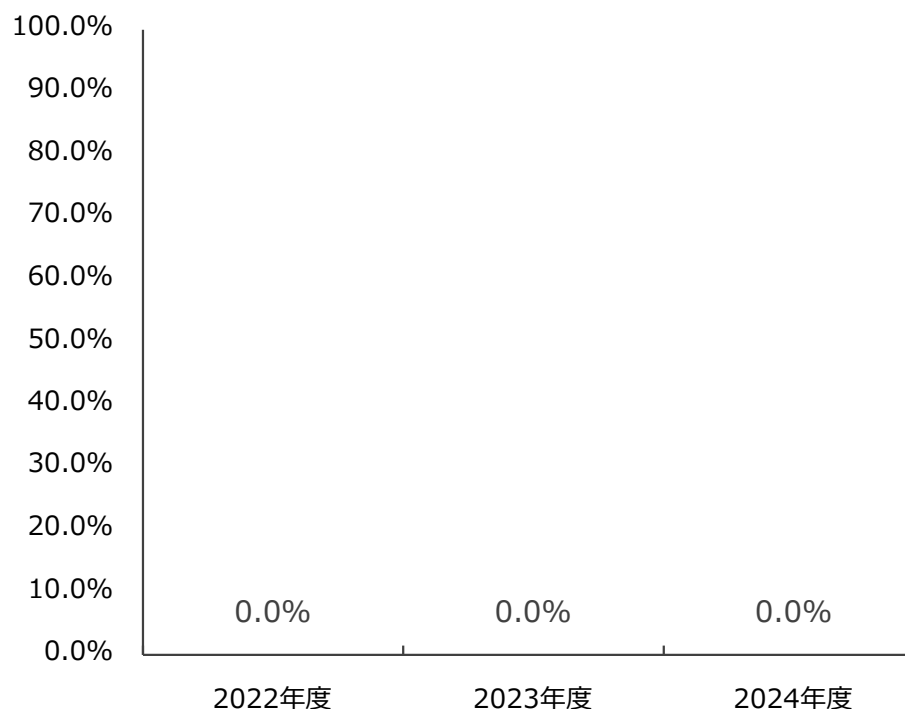
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～7)】

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が低下いたしました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞

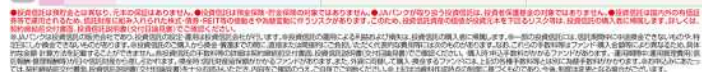


＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2024年3月から重要情報シートを導入しております。



--	--

③日商銀行は、法人役員は以上の議決権標準を満たすことを確認しています。

I. 取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、組合員・利用者の皆様のニーズや目的をお聞きし、組合員・利用者の皆様にふさわしい商品、共済仕組みを提案しています。
- ご契約いただいている組合員・利用者の皆様には、ご加入の契約内容を確認いただけるよう「3Q活動」を通じて「あんしんチェック」を実施しております。
- 保障の加入にあたっては、組合員・利用者の皆様のご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、わかりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施しています。
- 特にご高齢の組合員・利用者の皆様に対しては、より丁寧にわかりやすくご説明し、ご家族も含めて十分ご納得、ご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細やかな対応を行っています。
- 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆様にご負担いただく手数料等はございません。

I. 取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則 3 本文および（注）】

- 保障提案・情報提供にあたり、組合員・利用者の皆様の利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理しています。
- 金融・共済部門から独立した企画管理部（利益相反管理統括部署）が、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しています。
「利益相反のおそれのある取引」の類型は、以下のとおりです。
 1. お客さまと当 J A の間の利益が相反する類型
 2. 当 J A の「お客さまと他のお客さま」との間の利益が相反する類型
- 利益相反の管理の方法
当 J A は、利益相反のおそれのある取引を特定した場合について、次に掲げる方法により当該お客さまの保護を適正に確保しています。
 1. 対象取引を行う部門と当該お客さまとの取引を行う部門を分離する方法
 2. 対象取引または当該お客さまとの取引の条件もしくは方法を変更し、または中止する方法
 3. 対象取引に伴い、当該お客さまの利益が不当に害されるおそれがあることについて、当該お客さまに適切に開示する方法（ただし、当 J A が負う守秘義務に違反しない場合に限り）
 4. その他対象取引を適切に管理するための方法

I .取組状況

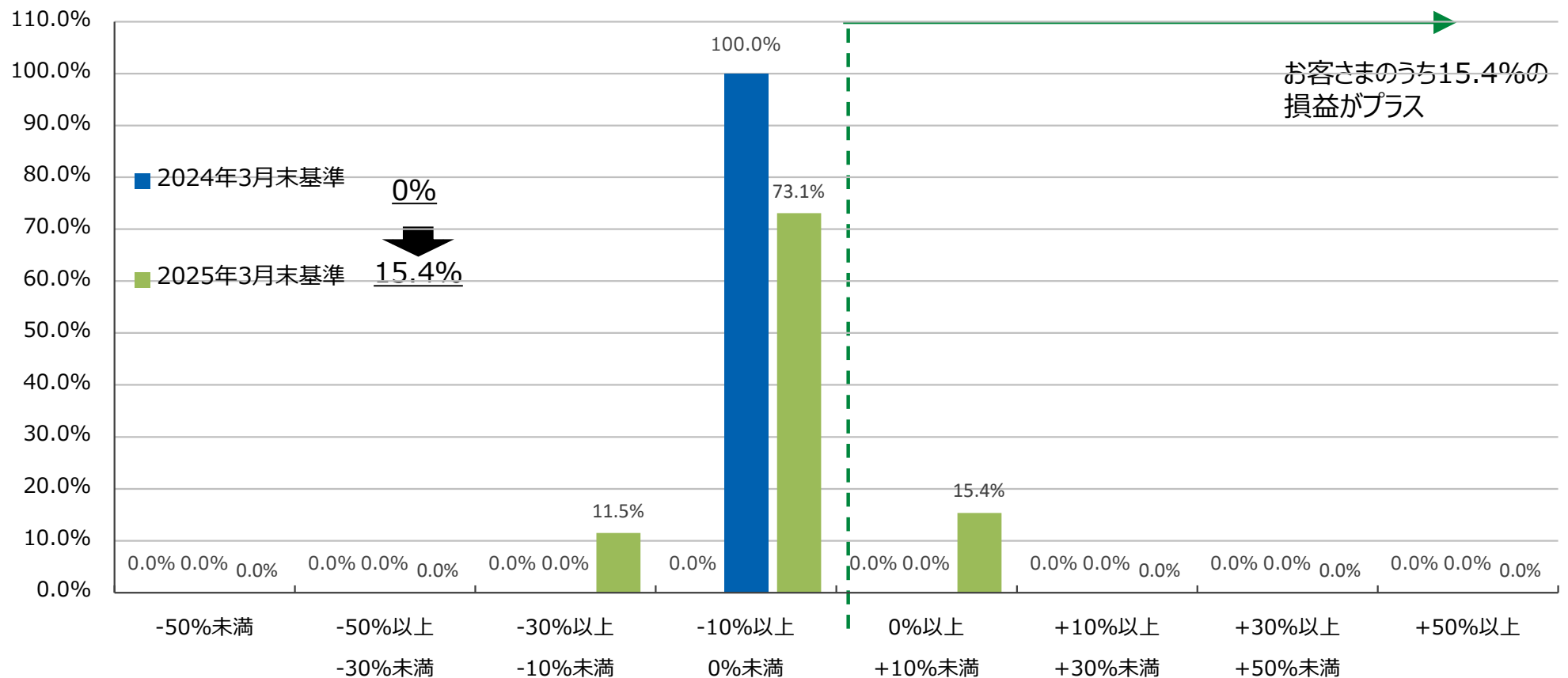
4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

- 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築
組合員・利用者本位の業務運営を実現するために、研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、態勢を構築しています。
 1. 当組合では、職員に証券外務員一種、二種、内部管理責任者の資格取得を促し、資産形成・運用に精通した人材を育成しています。また、定期的に研修会を開催し専門性を高めるよう努めています。
 2. 組合員・利用者の皆様のからいただいた「お問い合わせ・ご相談・ご要望・苦情」等を誠実に受け止め、改善に努めるとともに、最適な金融商品、共済仕組みを提供できるよう継続的に職員育成を行っています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

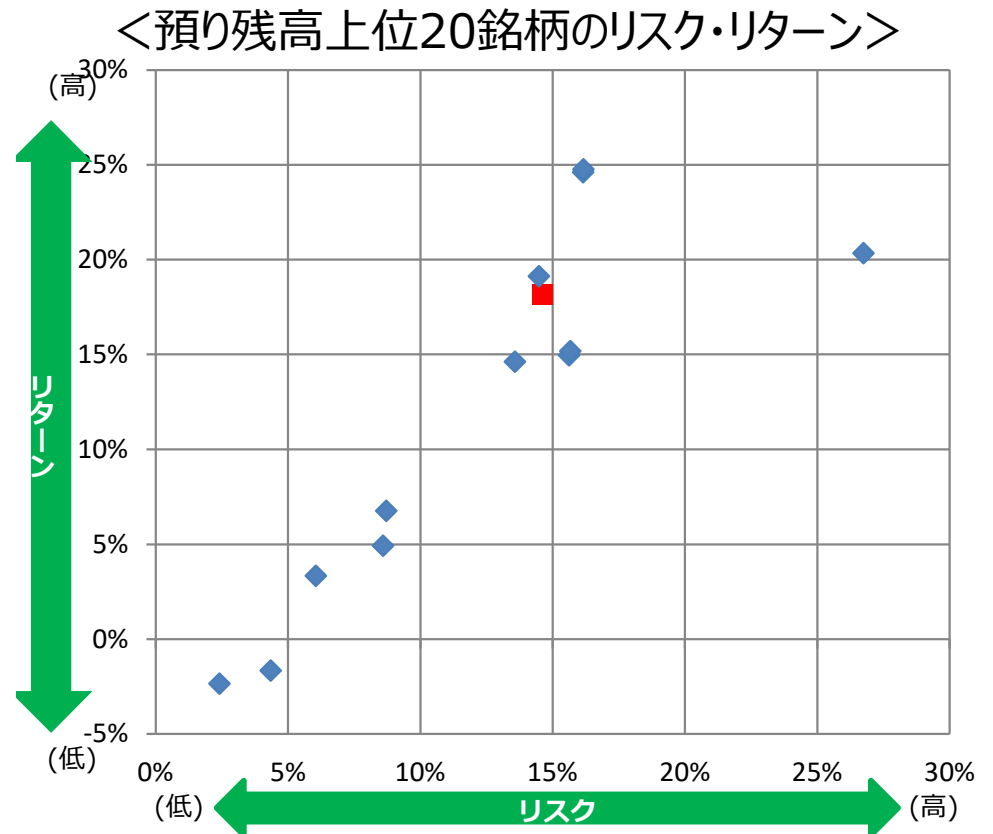
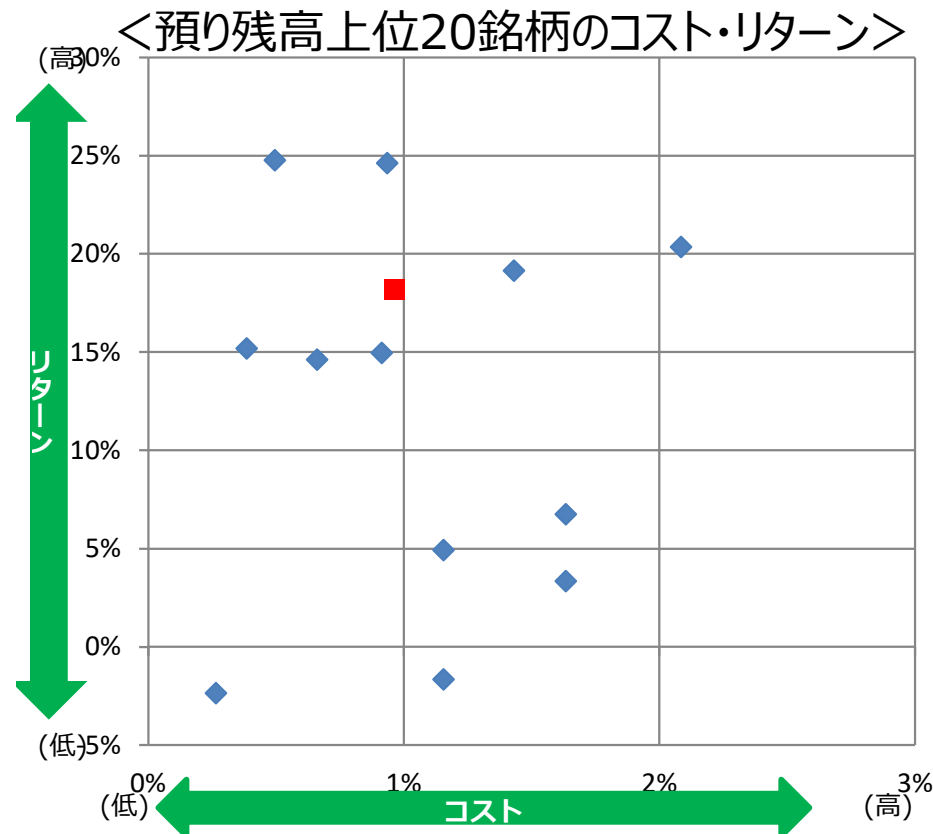
- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の15.4%のお客さまの損益がプラスとなりました。



Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.96%、平均リスク14.63%に対して、平均リターンは18.18%でした。



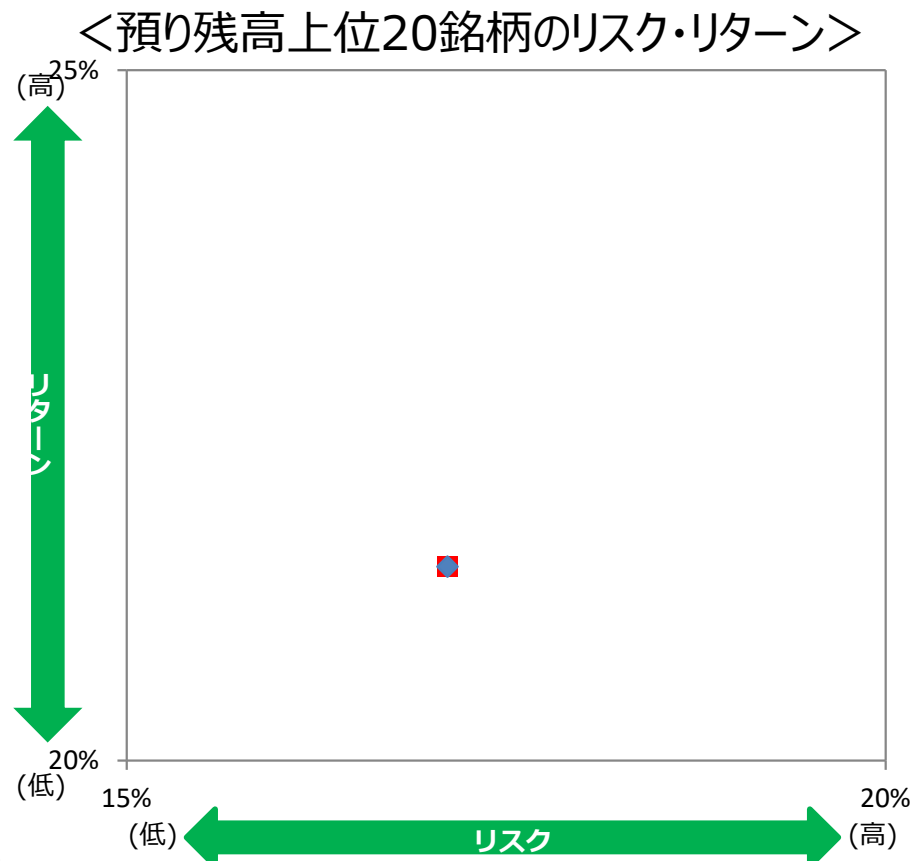
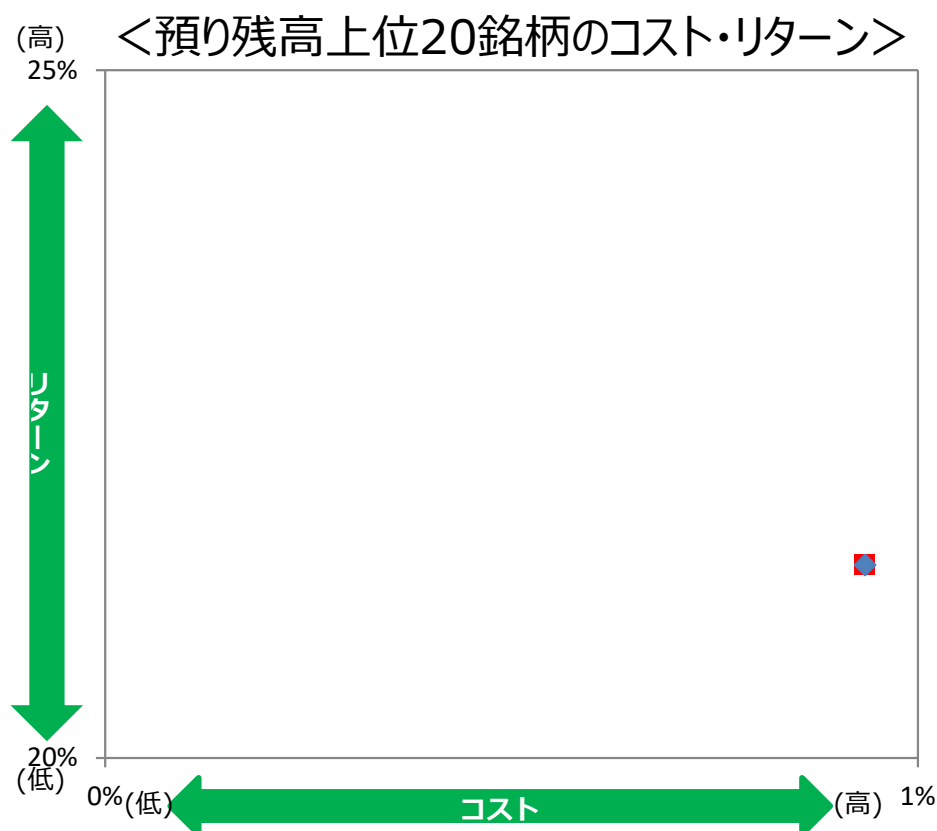
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.94%、平均リスク17.11%に対して、平均リターンは21.40%となりました。



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.62%	16.15%	0.94%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.96%	15.62%	0.91%
3	日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.93%	8.59%	1.16%
4	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.77%	16.16%	0.50%
5	日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-1.66%	4.34%	1.16%
6	HSBC世界資産選抜 育てるコース（資産形成型）	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
7	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	20.35%	26.74%	2.08%
8	HSBC世界資産選抜 収穫コース（予想分配金提示型）	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
9	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-2.36%	2.41%	0.26%
10	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
11	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
12	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金パリュースインベストメント（株）	14.63%	13.58%	0.66%
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		18.18%	14.63%	0.96%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は12本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.40%	17.11%	0.94%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		21.40%	17.11%	0.94%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は1本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。